

露店商人を観る

露店商人の社會

るが、實際はこれら的好景氣なくとも彼等がこの露店商界に安住出来ないことを約束されてゐるのである。

何故なれば露店商人は波等が優に一個の社會を形成しておあり、そこには嚴たる傳統と冒すべからざる不文律とを尊重し、且つ一つの統制者の支配に依つて日々の營業と日々の生活の安固を得てゐるものであつて、失業インテリや労働者が便衣隊的に露店商人化して見たところで、到底この社會を理解することは出來ず、又彼等の仲間入りをこの社會は喜ばないのである。

彼等露店商人は其の特殊社會たる存在と、意義上、當時隱語を使用しつゝある。これと一般商人と自らを割然たらしむの一方であるが、便衣隊的露店商人或ひは又其の日かぎりの露店商人等は、この隱語の解釋に苦しまずにはしばしば、この露店商人化して巷に商ひをなしつゝあつたといふのも、資本なき者の當然、撰ぶべき糊口の道であつた。然しながら今日軍需インフレ時代を見、彼等の姿を街頭に發見するのは甚だ僅少となつてゐる。これは彼等にも一陽來復して再び過往の如く就職したものとは一應見られ

んでゆくのである。此の方法は最も有効であり今日實行されてゐる。勿論、之のみといふわけではない。殊遇の外に前掲の年齢、能力、性行等も無關心であるわけにはゆかない。然しその根本的區分は殊遇による區分を實行してゐる。殊遇による寮舍別はその一寮舍内に年齢、能力、性行等の差異あるものをも收容し、長幼の別、能不能の別を比較的輕視する爲に玉石混淆の嫌ひはあるから、その點は他の諸條件を加味しなければならない。

最後に此の問題は單に區別あるが故に區別せんとし、或は机上の空論にのみ奔つてはならない。單に内容のみを區別して配分しても、その取扱い上の區別、教育上の効果、或は少年の心理的影響等も忽せにすることは出來ないから結局は最も弊害の少い方法を探ることになり、その集團全体の爲に適切な手段に出るの外ないのである。教育は單に技巧のみで完成されるものではない。

然しながら現状を通觀して最も必要を感じる事柄は精神並に身體的缺陷者の特殊的取扱いである。收容少年の中に

は相當程度の進んだ精神並に身體的缺陷者が少くなくそれ



らの少年は集團に於ける共同生活に堪へ難きものであり、それ故に在院中屢々問題事故を起し易いものであるから是非共、他少年と區分して特殊の取扱いをするより外あるまいと思はれる。(續く)

煮屋すしやのごときがそれ。
一、じめ。屋臺もなく、坐ることもなく、道具の一切を有せず單に口上を延べて、商ふもの、即ち香具師のことであつて、これにもたんかばいと稱し、客に對し威勢を示めして商ひを行ふものと、おとしと稱する、三段論法をもつてする商ひとがある。じめに大、じめ、小、じめあり、大、じめは、大がりなものと云ふ。廢兵と稱し、數人徒をなして賣藥を商ふものゝ如きは、この大、じめに屬するのである。

以上、へたり、じん、じめの三部にそれぞれ役員とも云ふべき者があつて、これはそれらの最古參經驗者が任命されてゐて、この者の指導に依つてそれ／＼商ひをすることになつてゐる。

尙又、その地方、市區町村、一町内の各區を分割して、露店役員制度をもうけてゐて、一夜露店街の展開に際すれば即ちその地を掌る役員が、商人の指定、場所の指定、露店區劃の指定を行ふのである。この役員を隱語では「ヤク」といふ。

露店商人は前記、一枚二枚の席數に應じて、一枚十錢乃至

露店の經費

至十五錢の割で「ヤク」へ營業稅とも稱すべきものを納入する。夜間使用の電燈料は通常電球使用の場合、八錢より十五錢までとされてゐる。

商品の研究

露店商人の取扱ふ商品に關して一時は甚だ面白からざる

ものがあつたが、今日では商人の自覺に依つて改善され、時には百貨店、小賣商店よりも安價に、よき品物を得ることすら出来る様になつた。例へば臺所用品にしてみても、百貨店にあつては十錢以下のものを扱はざるに反し、露店にはこれを備へ、優に使用の目的を果し得るものが多いのである。

植木類のごときも、一時は切り抜をさし入れて鉢植とみ

せかけるが如きものがあつたが、今日は左様なことは全然行はれてゐない。

女子の使用品であるところのヘアーネットの如きのものも

三枚五錢位の安價を以つて客に提供しつゝあるが、この

使用價値は、三枚二十錢の同一品と大差なき位いである。果物においてしかり、古本においてしかり、金魚の如きは

「ヤク」はその日、その地に集ひ來つた露店商人を引率して一定地域を巡り、各自の商品とその性質、或ひは私的關係の如何に依り、さながら巡廻船が客を上陸せしめ行くが如くに次ぎ次ぎに土地を決定するものである。こゝに於いて前記の如く「ヤク」と私的關係を有する者又「ヤク」が認むるところの露店商人界の古參者は、販賣に好條件を有する地點を與へられるものとされてゐる。往々吾人は露店街の一端に取り残された古本屋の一軒等を發見することがあるが、これらは即ちこの「ヤク」との關係のきはめて薄弱なるを物語るものなのである。

さて與へられた地域は、一枚二枚とその大小を呼ばれてゐるが、一枚とは席一枚の大きさをいふものである。しかして一定露店區域が其の日の商人全部を收容し得なかつた場合、之また「ヤク」は適宜に商人を撰んで、その日の商ひを中止させるの権利を有し、商人またこの「ヤク」の言に従はざるを得ないことになつてゐる。

露店商人は前記、一枚二枚の席數に應じて、一枚十錢乃至
最近の新戰術

但しマネキンと稱しても、かの百貨店に出現せるが如きものではなく、單なる一人の女性を自由に使用し、一夜の内にも甲より乙へ轉々商ひを授くるものであつて、これに支給すべきものは、甲は甲に應じ、乙は乙に應じて決定されてゐる。されば冰水屋に聲をからすとみれば、忽ち雑貨屋にあつて包装に從事しつゝあるといふ様な次第で、これをマネキンと稱し難きとせば、露店界のフリーランサーといふべきか。——とまれ、これは從來の如くさくらを使用し、それに多額の手當を支給し來つた露店商人の目醒めた一戦術といふべく、合理化されたる現象のものでもあらう。

露店商人はどこへ行く

露店商の將來に關し、こゝには充分なる研討を許されないけれども、一言にして要約すれば彼等は彼等社會の特性即ち傳統と不文律を彼等商人が尊奉するかぎり、永久のものであらうし、この永久性の如何に關しては、この社會の諸條件が變革しない限り、安全にして且つ個々の露店商人をして窮地に陥らしめない様な成り行きをもつてゐる。

従つてこの社會の諸條件に從順なるものは、露店商人としての資格を失ふことはない。たゞ扱ふところの商品に關して彼等が絶えず着眼を放さなければ、露店商界は如何に大資本的商戰が一般社會に行はれたと、影響されるところがないのである。露店はそれ自体行人の足をとめる一種の魅力を有してゐて、ことさらに呼びかけるが如き宣傳方法を必要としないで、客を捉え得るところに露店はいつまでも一つの商業社會の一分野を形成し得るものであらう。

以上、露店商人特に關西の夜店商人に關し、書き來つてこゝに樞要なる統計を示し、以つてその仕入れの如何、賣上げの如何をも詳記したいのではあるが、假りにも一本一錢のゴムヒモを商ふ者も露店商人の一員であり、半ば小屋がけを造つて口上を述べて商品を商ふものも露店商人であつてみれば、露店商界を一瞥するだに雜忙なものであり、しかも當今の如く入梅期に入つてみれば、空の一喜一憂にその日或ひはその夜の商運を決する彼等を統計に示すことは、至難中の最至難であらねばならない。

街の紙芝居と紙芝居師の生活

田中正

卒の際とて、紙芝居師の生活とそれに觸れると考へられる點を、ざつと感想的に述べることにいたします。

紙芝居の現状

なか／＼面白い仕事です。おそらく嫌々ながら出来る仕事と云ふやうなものは、先づあるわけではありませんから、それちがひありません。けれども紙芝居といふものを、よく事實の上に見て來ますとこれはなか／＼面白いどころのものではありません。大變な難物です。ちょうど一年半程の間私は公務の餘暇を、知友アサヒ・コドモ會の高尾亮雄氏と一緒に事實上の苦勞を踏んで參りました。それ故「紙芝居師の生活」「紙芝居の所理對策」といふやうな實際の問題に對しては、少からず實感が動き具象的な記述の材料、數字による參考資料などの多少の用意もありますが勿

現在大阪市中に紙芝居業者が一千人居ります。内輪に見

て一人一日十回餘りの實演で、一回に二十五人宛兒童を集めますと二百五十人、總勢二千人では毎日實に五十萬人の兒童に接するわけです。子供は本來話が好きであり現在の學校教育は、その性質上當然堅くるしくなります

はしがき
『紙芝居の世話をしたら、面白いだらう』

こんな事を人はよく言ひます。それは面白いと云へば、なか／＼面白い仕事です。おそらく嫌々ながら出来る仕事

と云ふやうなものは、先づあるわけではありませんから、それちがひありません。けれども紙芝居といふものを、

よく事實の上に見て來ますとこれはなか／＼面白いどころ

のものではありません。大變な難物です。ちょうど一年半

程の間私は公務の餘暇を、知友アサヒ・コドモ會の高尾亮

雄氏と一緒に事實上の苦勞を踏んで參りました。それ故「紙芝居師の生活」「紙芝居の所理對策」といふやうな實際の問題に對しては、少からず實感が動き具象的な記述の材

し、また大多數の家庭では子供さんの相手をしてゐられない状態ですから、どうしても僅か一錢を以つて子供の興味に投じ、充分に満足を得られる紙芝居の勢力といふものは非常に根強く、業者の家族等を合せ一萬人餘りの者が、現に紙芝居に據つて生活を立てゝ居る次第であります。

東京でも警視廳と民間有力機關が昨年來調査を進めて居りまして、最近の状勢を見得る文献によりますと、市内に三千の業者が居りまして、日々紙芝居を見る兒童が七十五萬人に上つて居ります。

おそらく全國に亘つては驚くべき數字が上げられるものと思はれます。

紙芝居はこうした根強い大勢力をもつて、日々無數の兒童に刺戟と感化とを與へて居るもので。これは抜き差しならぬ目前の事實であります。そして現在の紙芝居を見ますと、その内容と云ひ説明ぶりと云ひ、實に容易ならぬ醜惡なのが多く、兒童教育の立場から等閑に附し得ない緊急事項たるを免れません。

紙芝居はコドモの阿片

紙芝居を見馴れた子供が拍子木の音を聞いただけで、あれは「暗の夜のおつちやん」、あれは「花子のおつちやん」「鐵假面のおつちやん」、「人鬼のおつちやん」などと、家の中でも聞きわけるのに驚かされます。

汚れた服を着て色のついた眼鏡などシカけて、自轉車に舞臺と鳴物などの道具を氣輕く積みこんだ紙芝居のおつさんは、子供の集る一寸した廣場、長屋の露路口、横丁の角などで始めます。一錢で頂戴々々々々。子供達はにぎりしめてゐる一錢銅貨と引かへに、飴、クズ昆布、鉛筆、駄菓子などを與へられる、必ず何等かの形式でアテモノ、懸賞などが附隨して子供心をそゝるのです。飴を例にしても正確には飴といへるかどうかと思はれる材料上の類似品で、これに巻きつける紙などの不潔なことは、また恐るべきものがあります。子供は飴をしやぶり、昆布のクズを噛んで見物するのです。

次の「紙芝居」と題する短文はすつと以前「朝日新聞」の投稿欄に掲載されてあつたものですが、可愛い子供を思ふ親

の心がこの一篇の短文に、よほどよく現れて居ると思ひますから、抜萃いたします。

紙芝居

◇面白いからパパも一緒に来いよ。と無理やり子供に引張られて紙芝居を見に行つた「一昨日も、昨日もそして今日も亦、繼母は花子さんをいちめるのである、苦しさ悲しさに花子さんはとう／＼自殺をしようと決心しました。巧みなデエスチユアをまじへた名解説に、たゞもう陶然とした二十人ばかりの子供達が肩を波うたせ、息を殺して画面を見つめてゐる。

◇肉彈三勇士や、黄金バットの頃は、歸つて來てからの談振りにも朗かで明るい希望と空想とが見られたが、通俗小説を地で行くやうな「繼母いちめの人情劇」になつて來るともう子供達の眼の色が變つて仕舞ふ。

◇繼母とは何か、繼母とは何か？そして繼母は何故あなたに繼子をいちめるのか等々、その夜の食卓では質疑連發、不用意な私共にはとても應答しきれない。この上戀愛や思想なんかが織込まれて來たら、どんな事になるだ

らう。

◇紙芝居は子供のアヘンである。もし私の言葉に疑念を持たれる方があるなら、だまされたと思つて一度のぞいて御覽なさい。善いか悪いかをこゝで問題にするのではない。私は不幸にして語る人と聞く人との間に、こんなにもピツタリ呼吸の合つた場面をどこの講堂や教室でも未だかつて見たことが無い。

◇「花子さんの運命やいかに」で胸がいつぱいな子供達には、學校の宿題など苦もなくノックアウトされてゐる。時の大臣の名は忘れて、あした又來る紙芝居の小父さんの顔を決して忘れないだらう。街路の道化師はいつもでも「單なる餉屋」ぢやない。

◇統制と監督の好きな御役人が、このすばらしい街の英雄に眼をつけないのはウソだと思ふ。(TM生寄)

私も紙芝居とコドモとの關係は實に容易ならぬものと、特に大阪府として警察部がぜひ教育方面的の當事者と協力され、これが取締りと指導に處置の宜しきを得られんこと

を切望しないでは居られません。

紙芝居師の特性

現在の紙芝居師はその職業系統の上からは、香具師の一部に属するものと感じられます。一年以上も接近して見てまゐりました結果ですが、人々の性質趣向等の相異する中に紙芝居師としての集團性共通がたしかにあります。一、心が浮わつて定らない。

これは、現在の仕事の性質から来て居ります。毎日々々一組三十六枚程の繪を、新規に取かへて説明せねばならぬ焦慮が根本なのです。各自の属する會(繪の貸元)の互の競争の上から、粗雑で要領よく刺戟的で、人に先んじさせればよい、こうした氣風が自然に重く見られるからです親分(即ち貸元)と云ふものが、この傾向を作るのです。事實の上で氣が利く、よく賣る、これでなければ彼等は、このグループに生活出來ないのです。生活出來ない實状であるから、實狀以上につい事大的に、こうせねば生活出來ないと堅く自ら思ひ込んでゐるのです。

一、無智と剛情

だぞ、子供といふものは實だ、國の實だ、おろそかに思つたらあかんぞ』

こうした說法も彼等の精神と彼等の生活を引上げる施設と俟つて始めて効果があるが、それでなくばどうしても駄目です。打算的で表面はすぐ妥協しますが心の底は強情です。血の滴る劍劇物、グロな惡鬼物、凄惨な生首の繪などの前にガタ／＼震へる五ツ六ツの柔かい童心、凄いもの見たさの子供心に、身振り入りの聲で熱演を平然と行ふ、紙芝居師の隠れた心理といふやうなものには非識者の關心を喚びたい。等閑に附してはならない事實だと思います。

一、表裏があつて捕捉しがたい。

離合集散すべて陰謀的であり、恥もなく露骨に打算的です。目に見えて必要もない嘘をいふ。

そして辯解や説明は實に聞くのが嫌やになる程出鱈目です。こんな場合虚偽の衣を除いて何んでもつと人間的になれなか、不服なり利害上の打算なりせめて眞實だけを吐露する習慣をつけてやれないものか、こう思つて實に骨を折つたことがいくらあるかわかりません。彼等を見て一番哀れな感じのするのは、一様に實感といふやうな眞實味がかれて了つてゐるので、苦勞をしぬき冷酷な親分にいぢめ抜かれ、人間の愛と涙にふれた事のな／＼やうな人々が殆んど

どです。この人々が街頭で比較するものゝない程に近々と子供との接觸を遂げるのですから、どうしてもこの事實は捨ておくわけにまゐりません。

つゞめて申せば紙芝居師の生活は、現狀のまゝに捨ておけばその儘では決して自然淘汰は望まれない。まして向上改善の理想とは全然別途な組織の上に、根を張つてゐるのです。弱點を利用すると云ふことが誤つた商賣主義のモットーとすれば、現在の紙芝居界を裏面より操縦する東京、名古屋、大阪に散在する貸元なるもの程このモットーを利用してゐるものはありません。立派な街頭興行であり乍ら興行法としての取締りを受けず。認可制もなく檢閱も要せず。映畫の檢閲があれ程きびしいのに、ボスターすら警察部の檢閲の無いといふのはどういふ理由であります。他の地方では聞くところによると、古い政治家などを看板に官廳方面を暗に操縦するなど隠で自慢する。この貸元業者の恐るべき網と爪の存在する限り、紙芝居師の生活向上は到底望み得ません。従つて街の童心に明朗な善き贈物をやる事は非常な困難になります。紙芝居師の不幸な生活もその上でなくてはどうもならないであります。